

# 結果の概要

## 1 賃金の改定の実施状況

令和4年中における賃金の改定の実施状況（9～12月予定を含む。）をみると、「1人平均賃金を引き上げた・引き上げる」企業の割合は85.7%（前年80.7%）、「1人平均賃金を引き下げた・引き下げる」は0.9%（同1.0%）、「賃金の改定を実施しない」は6.2%（同10.1%）、「未定」は7.3%（同8.2%）となっている。

産業別にみると、「1人平均賃金を引き上げた・引き上げる」では、「学術研究，専門・技術サービス業」が95.7%（同93.7%）、次いで「建設業」が95.4%（同87.8%）と高くなっており、「1人平均賃金を引き下げた・引き下げる」では、「学術研究，専門・技術サービス業」が2.7%（同1.0%）、次いで「生活関連サービス業，娯楽業」が2.0%（同5.4%）と高くなっている。（第1表、付表1）

第1表 企業規模・産業、賃金の改定の実施状況・実施時期別企業割合

年、企業規模・産業	全企業	賃金の改定を実施した又は予定している						賃金の改定を実施しない <sup>4)</sup>	未定 <sup>5)</sup>	
		小計 <sup>1)</sup>	賃金の改定を実施した又は予定している			改定の実施時期 <sup>2)</sup>				
			1人平均賃金を引き上げた・引き上げる	1人平均賃金を引き下げた・引き下げる	0.9	1～8月のみ <sup>3)</sup>	9～12月のみ <sup>3)</sup>			1～8月及び9～12月 <sup>3)</sup>
令和4年	100.0	86.6	85.7	0.9	74.9	6.7	4.9	6.2	7.3	
5,000人以上	100.0	97.3	96.0	1.3	87.7	4.8	4.8	0.4	2.2	
1,000～4,999人	100.0	92.2	91.9	0.3	81.4	2.6	8.2	4.5	3.3	
300～999人	100.0	90.8	90.2	0.6	79.7	5.3	5.8	3.8	5.4	
100～299人	100.0	84.6	83.7	1.0	72.7	7.5	4.4	7.1	8.2	
鉱業，採石業，砂利採取業	100.0	86.6	86.6	-	86.6	-	-	13.4	-	
建設業	100.0	95.4	95.4	-	73.3	17.2	4.9	4.6	-	
製造業	100.0	95.7	94.8	0.8	89.0	1.9	4.8	1.7	2.6	
電気・ガス・熱供給・水道業	100.0	92.4	92.4	-	77.3	8.5	6.6	7.6	-	
情報通信業	100.0	89.3	89.3	-	77.2	2.8	9.4	5.8	4.9	
運輸業，郵便業	100.0	75.6	75.6	-	60.2	12.7	2.6	10.3	14.1	
卸売業，小売業	100.0	84.4	83.3	1.1	77.2	3.9	3.3	6.9	8.8	
金融業，保険業	100.0	93.2	92.9	0.3	86.9	3.4	2.9	6.8	-	
不動産業，物品賃貸業	100.0	93.3	93.3	-	81.6	8.3	3.4	2.2	4.5	
学術研究，専門・技術サービス業	100.0	98.4	95.7	2.7	73.1	19.0	6.3	1.4	0.2	
宿泊業，飲食サービス業	100.0	72.7	71.1	1.6	52.2	14.2	6.3	10.7	16.6	
生活関連サービス業，娯楽業	100.0	69.8	67.8	2.0	57.7	6.9	5.2	16.8	13.4	
教育，学習支援業	100.0	82.0	80.9	1.0	70.7	1.0	10.2	10.9	7.1	
医療，福祉	100.0	95.2	95.2	-	81.0	3.8	10.4	2.0	2.8	
サービス業（他に分類されないもの）	100.0	80.5	79.4	1.2	64.8	9.7	6.0	9.0	10.4	
令和3年	100.0	81.7	80.7	1.0	74.0	4.6	3.1	10.1	8.2	
5,000人以上	100.0	95.1	94.6	0.5	87.9	3.9	3.2	4.0	1.0	
1,000～4,999人	100.0	89.0	87.8	1.2	79.6	2.2	7.3	5.2	5.8	
300～999人	100.0	84.8	83.6	1.2	76.6	3.9	4.4	10.8	4.4	
100～299人	100.0	80.0	79.0	1.0	72.6	5.0	2.4	10.3	9.6	
鉱業，採石業，砂利採取業	100.0	88.1	88.1	-	88.1	-	-	11.9	-	
建設業	100.0	87.8	87.8	-	84.0	3.8	-	4.5	7.7	
製造業	100.0	91.1	90.7	0.4	86.4	0.9	3.9	5.6	3.3	
電気・ガス・熱供給・水道業	100.0	90.1	90.1	-	89.0	1.1	-	9.9	-	
情報通信業	100.0	90.7	90.6	0.1	83.0	4.6	3.1	8.2	1.0	
運輸業，郵便業	100.0	64.5	64.5	-	60.4	-	4.0	20.8	14.7	
卸売業，小売業	100.0	87.5	86.1	1.4	76.4	9.9	1.3	3.2	9.2	
金融業，保険業	100.0	77.1	66.4	10.6	71.9	3.6	1.6	10.1	12.8	
不動産業，物品賃貸業	100.0	95.8	93.2	2.6	89.4	5.0	1.4	0.6	3.6	
学術研究，専門・技術サービス業	100.0	94.7	93.7	1.0	84.7	9.8	0.2	5.0	0.3	
宿泊業，飲食サービス業	100.0	59.6	56.5	3.1	48.5	6.6	4.5	21.5	19.0	
生活関連サービス業，娯楽業	100.0	71.6	66.2	5.4	65.0	3.9	2.7	19.5	8.9	
教育，学習支援業	100.0	83.6	81.1	2.5	76.7	3.3	3.6	9.4	7.0	
医療，福祉	100.0	86.9	86.9	-	70.2	9.5	7.2	4.8	8.3	
サービス業（他に分類されないもの）	100.0	66.9	66.3	0.6	55.7	7.0	4.2	21.3	11.8	

注：1）「小計」は、全企業に占める賃金の改定を実施した又は予定している企業の割合である。

2）「改定の実施時期」とは、改定後の賃金が給与計算に適用される時期をいう。

3）「1～8月のみ」とは、1～8月に賃金の改定を実施し、9～12月に賃金の改定を予定しない企業、「9～12月のみ」とは、1～8月に賃金の改定を実施せず、9～12月に賃金の改定を予定する企業、「1～8月及び9～12月」とは、1～8月に賃金の改定を実施し、更に9～12月に賃金の改定を予定する企業をいう。

4）「賃金の改定を実施しない」とは、1～8月に賃金の改定を実施せず、9～12月にも実施する予定がない企業をいう。

5）「未定」とは、1～8月に賃金の改定を実施せず、9～12月に実施するかどうかは「未定である」とした企業をいう。